

2018年度 3年古典 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
古典	2単位	3	全	必修	普通科	石岡 エリ子 印 仲松 綾子 印 林 貴子 印

1. 概要及び目標

古典としての古文と漢文を読解し鑑賞する能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。

2. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

○ 定期テスト

- 1, 2学期には中間考査・期末考査・実力テスト、3学期には学年末テストを実施する。
- 中間・期末考査の出題範囲は授業内容を主とし、自主学習課題も範囲に加え、応用を含むものとする。

○ 小テスト

- 授業の中で適宜、小テスト（漢字・古典文法など）を実施。語彙力を評価し、学習意欲の向上を図るとともに学習習慣や姿勢も観察し、指導する。

○ 提出物

- 授業の進度に応じ、自宅学習向けに課したものや、長期休業中の課題の提出。
- その他、感想文・ノート等の提出。

○ 授業

- 授業の出席状況・発問への主体的な姿勢を評価する。

3. 使用教科書・教材

- 教科書：教育出版「古典」（古文編・漢文編）
- 副教材：桐原書店「やさしく詳しい古典文法 改訂新版」 数研出版「最新国語便覧」
文英堂 「まめまめ古文単語」

4. 授業の展開と形態

- 普通科 10 クラス。特進クラスにおいては、一斉授業とする。

5. 学習方法

- 年度初めに古典の学習法についてガイダンスを行う。
- 授業は進度表に沿って行ない、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。
- ノート・課題等を適宜提出させる。

6. その他（履修上の注意）

- 成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

授業計画

月	単元	教材	内容・留意点	配当時間
4月 ～ 5月	日記	土佐日記	作品独自の文体と方法を学び、そこに描かれた普遍的な心情について考える。	4
	文	桃花源記	文中に表れている筆者のものの見方・考え方を理解する。 読みにくい語句・句法に注意し、訓読する。	6
雑説				
中間考査				
5月 ～ 6月	随筆 (二)	枕草子	正確な読解を通して、作者の感性に触れるとともに、わが国の美意識がどのように形成されてきたか考える。	6
	古詩	桃夭・勅勒歌	古体詩を読み、そこに描き出された人間、社会、自然などに対する人々の思いを読み取る。	4
子夜呉歌				
期末考査				
6月 ～ 7月	俳諧と俳論	奥の細道	近世の優れた句を季節感と味わうことで俳諧に親しみ、作者の心情や描かれた情景を理解する。 季語・切れ字の表現効果を考える。	4
		近世俳句		
項羽と劉邦	史記	史記	中国正史の「史記」を読み、乱世に生きる人々の生き方や考え方を理解する。 登場人物の心理と行動を的確におさえ、場面の展開を正確に理解する。	6
		史記		
8月	課題 (読書感想文・作文・創作文等)			
9月 ～ 10月	中国の思想	一 孔子とその弟子	句形に習熟し、正確に訓読や口語訳する。 脚注や漢和辞典を利用して全文を口語訳し、全体の内容を把握する。	5
		二 性善と性悪		
物語 (二)	源氏物語 光源氏の誕生 小柴垣のもと	源氏物語	古典文学の傑作である「源氏物語」を読み、古文独特の文体になれ親しむ。 光源氏をめぐる女性たちの生き方について考える。	8
		源氏物語		
中間考査				
10月 ～ 11月	郷土の文学	組踊「執心鐘入」	郷土の文学(組踊)の概要を理解し、鑑賞する力を養う。	3
	「三国志」の英雄たち	諸葛孔明 曹操	三国時代の英雄が活躍する小説の面白さを味わい、漢文独特の誇張表現や話の展開を理解する。	8
期末考査				
12月	和歌と歌論	万葉の歌	代表的な和歌を読み、解釈・鑑賞法について学ぶとともに、日本の文学観や美意識の伝統について理解を深める。	6
		王朝の歌		
		無名抄		
冬休み	課題等			
1月	武士の世界	平家物語	登場人物の心情や行動などを読み取ることで、騒乱の時代に生きた人間の姿を考える。	6
		建礼門院右京大夫集		
卒業考査				
2月	日本の漢詩文	九月十日	日本の漢詩文を読み、中国文化が日本に与えた影響について理解する。	4
		題自画		
		兼山遠慮		